



福岡県視聴覚ライブラリーでは、さまざまなジャンルの教材を豊富にとりそろえています。今回はライブラリー所蔵の5,000本以上の教材の中から、これからのイベント、研修や学習にピッタリの視聴覚教材を紹介します。

◎「人権」について考える

「おしおし村の仲間たち みんないいところあるんだよ」13分／幼稚園～【D29016】

外見や能力が異なるおしおし村の昆虫たちが、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、他人と比べて悩んだりします。そんな中で、誰でも苦手なことや得意なことがあること、お互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやることの大切さなどに気づいていきます。かわいい昆虫キャラクターと共に楽しく学べる作品です。



幼稚園・保育園で



学校で

「いじめ 心の声に気づく力」19分／小学生～【D01012】

「遊びだ、いじりだって言うのは、やってる側の言い分で、本人が嫌だと思えば、それは「いじめ」なんだ。」・・・涼太達による拓海への「からかい」行為に加わっているつばさは、ある日の下校中、他の友達から「拓海がかわいそうだよ」と非難され、心がモヤモヤしてしまいます。帰宅後、兄に相談すると…。いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちを思いやることの大切さに気づかせたり、いじめの解決のために何ができるかを考える作品です。



学童保育で



公民館で

「シェアしてみたらわかったこと」46分／中学生～【D02019】

上京して、期待を胸に入居したシェアハウスでしたが、そこに暮らしていたのは、個性豊かな住人たちでした。この住民たちとの交流は戸惑いの連続でしたが、時間、空間、思いをシェアすることで、初めて気づくことができました。…6つのショートストーリーで、様々な「人権」について考える作品です。



職場で

「家庭からふりかえる人権 話せてよかった」27分

／高校生～【D02020】

「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係性の中で、相手や自分のことを一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を気づくために、「人権」について話し合うきっかけとなる作品です。



研修で

◎「一般映画・ドキュメンタリー」作品紹介①

「ベトナムの風に吹かれて」114分／高校生～【D03032】

ベトナム・ハノイ在住の日本語教師・小松みゆき氏が認知症の母とのベトナム暮らしを綴った同名原作の映画化作品です。ベトナムでの認知症の母との生活、それを支えてくれるベトナムの人々との心温まる交流を通して、主人公は心を豊かにさせていきます。

キャスト：松坂慶子、草村礼子、奥田瑛二、斎藤洋介、吉川晃司 他



学校で



公民館で

◎「防災」について考える

「もしものときにできることシリーズ」／幼稚園～

生活安全編「『めらめら もくもく』①火災」24分【D30011】

「『ぶーぶー ききー!』②交通安全」22分【D30012】

「『にこにこ がおー!』③犯罪防止」29分【D30013】

自然災害編「『ぐらぐら どん!』①地震・津波」32分【D30014】

「『びゅうびゅう ざざー!』②風水害 他」29分【D30015】

子どもたち自身がもしものときに備えて、「自分の命は自分で守る」という意識を持つことができるように、楽しみながら、防災や防犯の知識を得ることができるお話と歌で構成されたアニメーション作品です。シリーズになっており、生活安全編は「①火災 ②交通安全 ③犯罪防止」、自然災害編は「①地震・津波 ②風水害・雪害・土砂災害・火山噴火」をテーマとしています。



「災害ケーススタディ とっさの判断!君ならどうする?」60分

／小学校～【D27053】

災害に対する被害を最小限に食い止めるためには、児童生徒自身が災害発生時に自ら当事者として行動し、避難行動を進めることが大切です。防災について考えることを日常化し、いつ何時でも災害に対応できるように、具体的な災害のケースを分割して多数取り上げ、ケーススタディとして想定し、その場でどうするべきか考えさせる作品です。



「地震・水害から命を守る 生き抜くための自助・共助」24分

／中学校～【D02012】

毎年のように各地で発生する地震や水害などの大きな災害。しかし、災害自体を止めることはできません。しかし、備えがあれば、被害を減らすことはできます。それが「減災」という考え方です。その基盤となるのが、「自助」・「共助」です。この作品では、災害に遭遇する家族の様子をドラマで描き、自助・共助の重要性や命を守る備えと行動を実感的にイメージできます。



「災害から一人の命も取り残さないために

要配慮者の備えと避難行動」27分／中学校～【D03034】

地震や水害が多く発生する昨今、避難したくても動けない人や情報の入手すら困難な人がいます。要配慮者と呼ばれる人々の命を守るために、どう備え、どう行動すればよいのか、当事者の方々への取材を交えながら、自助・共助の両面から具体的な方策を探っていきます。



◎「一般映画・ドキュメンタリー」作品紹介②

「ハルをさがして」93分／中学生～【D02014】

2012年夏。都内に暮らすノボルは、同じクラスのマサル、ヒロキと冴えない学校生活を送っていました。夏休みになると、密かに思いを寄せる同じクラスのチエコに会えなくなるし、受験シーズン突入の季節を前に気は重くなるばかりでした。そんな時、ノボル達はチエコから、東日本大震災、福島から東京に自主避難した際、残してきた愛犬の“ハル”と一緒に探しに行きたいとお願いされました。ハルを探す4人のひと夏の冒険が始まります。



〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2(福岡県立社会教育総合センター内)

TEL:092-947-3514 FAX:092-947-8029

ホームページアドレス

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/raiburari/index.html>

※教材の検索等、詳しくは、ホームページをご覧ください。



福岡県視聴覚ライブラリー

検索

